

コンビ ウェルベビー

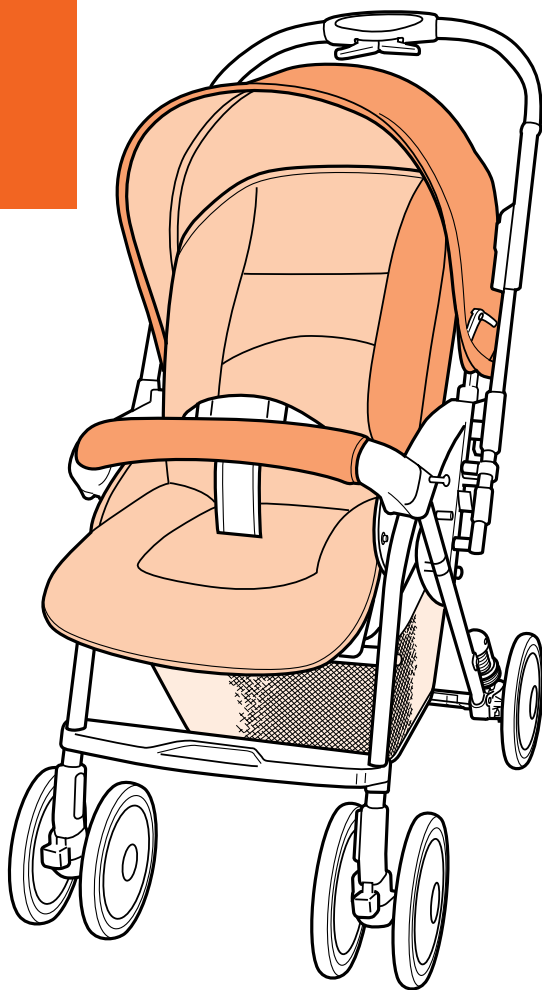
PR-479

Combi

取扱説明書

品質保証書付

ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。また、本書は大切に保管してください。取りはずしてある部品は、本書をよく読んで取り付けてください。本品を他のお客様にお譲りになるときは、必ず本書もあわせてお渡しください。



安全基準 A 型

(1ヵ月～24ヵ月まで)

目次	●ご使用の前に.....1	●買い物カゴの使いかた.....9
	●安全にお使いいただくために	●シートベルト(股ベルト・腰ベルト)の使いかた.....10
	△警告.....1	●シート、衝撃吸収マットの取り扱いかた.....10
	△注意.....3	●幌の使いかた.....11
	●各部のなまえ.....4	●足のせの使いかた.....11
	●手元ロックボタンについて.....5	●本体の折りたたみかた.....12
	●本体の開きかた.....5	●保管のしかた.....12
	●ハンドルの切り替えかた.....6	●日常のお手入れ.....13
	●ハンドル高さ調節のしかた.....6	●点検とアフターサービスについて.....13
	●アームレストカバーの使いかた.....7	●廃棄方法について.....13
	●リクライニングの使いかた.....7	●品質保証書.....14
	●キャスターの使いかた.....8	●SGマークの被害者救済制度.....14
	●ストッパーの使いかた.....8	●便利なオプション品(別売り).....15
	●フロントガードの使いかた.....9	

ご使用前に

- この製品は、一般家庭で乳幼児を乗せ、外気浴、日光浴、買い物などに使用するための1人乗り乳母車（ベビーカー）です。
- 対象年齢：生後1ヵ月※以上24ヵ月以内（お子さまの発育により個人差があります）
※生後1ヵ月とは、出生時に体重2.5kg以上かつ在胎週数37週以上を満し、1ヵ月経過した乳児を示します。
- 望ましい連続使用時間：2時間以内（ただし、7ヵ月以上を対象にした座位使用時は1時間以内）
- 組み立てる前に、14ページ「品質保証書」に次の項目を記入してください。
- ロットNo.（背もたれ後側に貼ってあるシールに記載されています。）
- お客様のお名前・ご住所・電話番号
- 販売店名

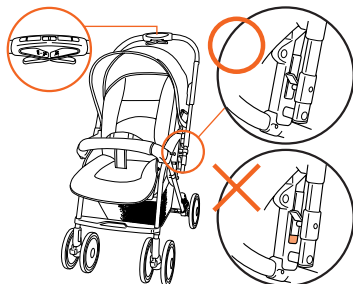
安全にお使いいただくために

- 製品を使用する上でご理解いただきたい警告および注意事項を記載しています。
製品を正しく安全にお使いいただき、危害や損害を未然に防止するためのものです。
ここに記載した内容を無視した場合、お子さまおよび保護者の方が重大な損害を被るおそれがあります。
よくお読みの上、製品をご使用ください。
- 注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いの結果生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

⚠ 警告 取り扱いを誤ると重大な

乳幼児が落ちたりベビーカーが折りたたまれるおそれがあります。

- 開閉およびハンドル切り替えのロックが確実にかかっていること（ベビーカーが完全に開いた状態であるか）を確認してから使用してください。



- ロックがかかっている
開閉ロックが下がって
間に空気がない

- ロックがかかっていない
開閉ロックが上がって
間に空気がある

- 乳幼児を乗せたままフロントガードを持つなどしてベビーカーを持ち上げないでください。手がすべったり、フロントガードがはずれたりするおそれがあります。



- 階段、エスカレーター、段差のあるところ、また、砂場/砂浜/河原/ぬかるみなどの悪路では使用しないでください。



- 破損/異常が発生した場合は、必ず修理を受けてください。当社コンシューマープラザにご連絡ください。



乳幼児が落ちるおそれがあります。

- 股ベルト・腰ベルトを必ず締めて使用してください。
- 乳幼児は思わぬ動作をしますので、シートベルトを締めていても立ち上がるおそれがあります。
目を離さず十分注意してご使用ください。



- 乳幼児をベビーカーの中で立たせないでください。





誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。



誤った取り扱いをすると人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容が記載されています。

●お守りいただく内容の種類を次の表示で区分し説明しています。



警告 / 注意を促す内容があることを告げるものです。



禁止の行為であることを告げるものです。

事故につながるおそれがあります。

ベビーカーが転倒して乳幼児が落ちるおそれがあります。

- 乳幼児を乗せているとき、カゴ以外の所に荷物を乗せたり、つるしたりしないでください。



- ベビーカーに同時に2人以上の乳幼児を乗せたり、乳幼児をシート以外の所に乗せないでください。



- ご使用中にハンドルによりかかったり、過度の荷重をかけないでください。

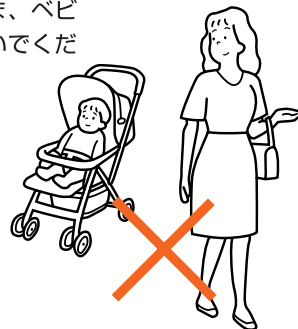


ベビーカーが動き出したり転倒するおそれがあります。

- ストッパーを過信しないでください。
ストッパーをかけていても動き出したり、転倒するおそれがあります。



- 乳幼児を乗せたまま、ベビーカーから離れないでください。



- ベビーカーは空車であっても坂の途中 / 車道に近い歩道上など危険な場所に放置しないでください。



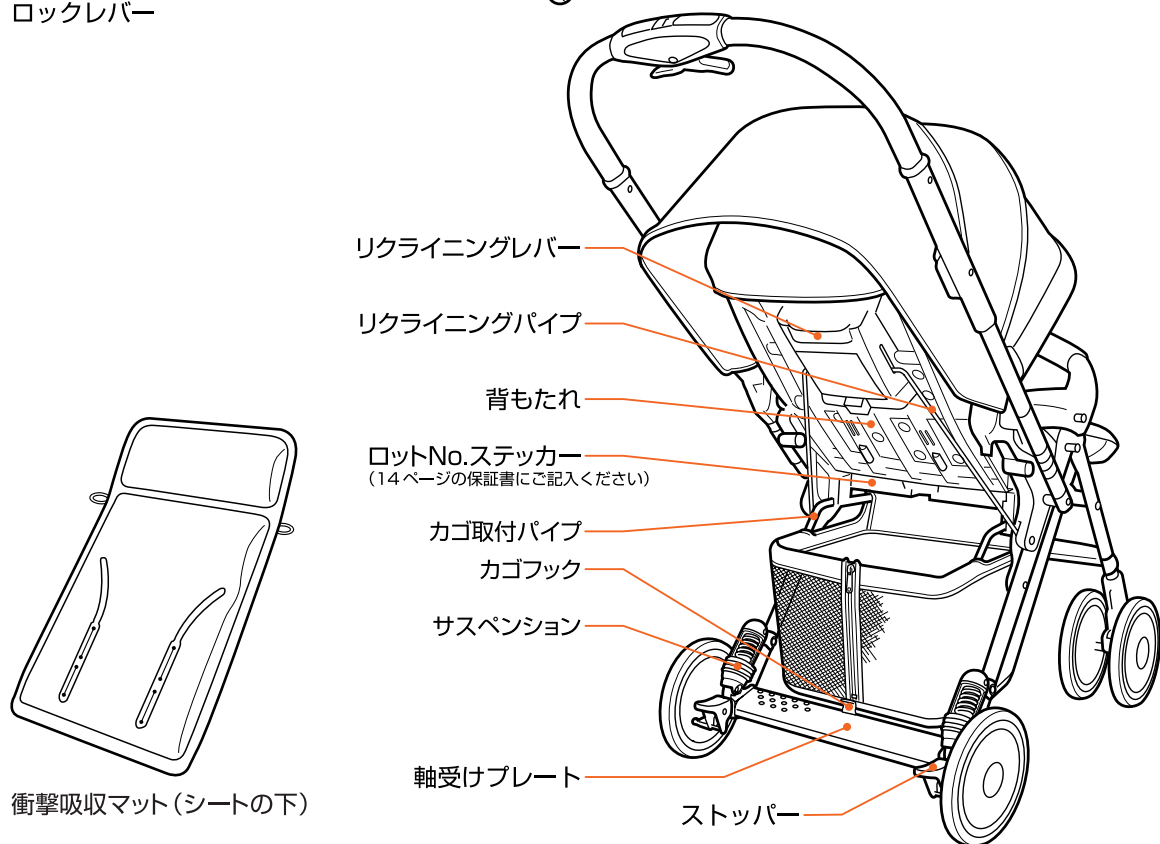
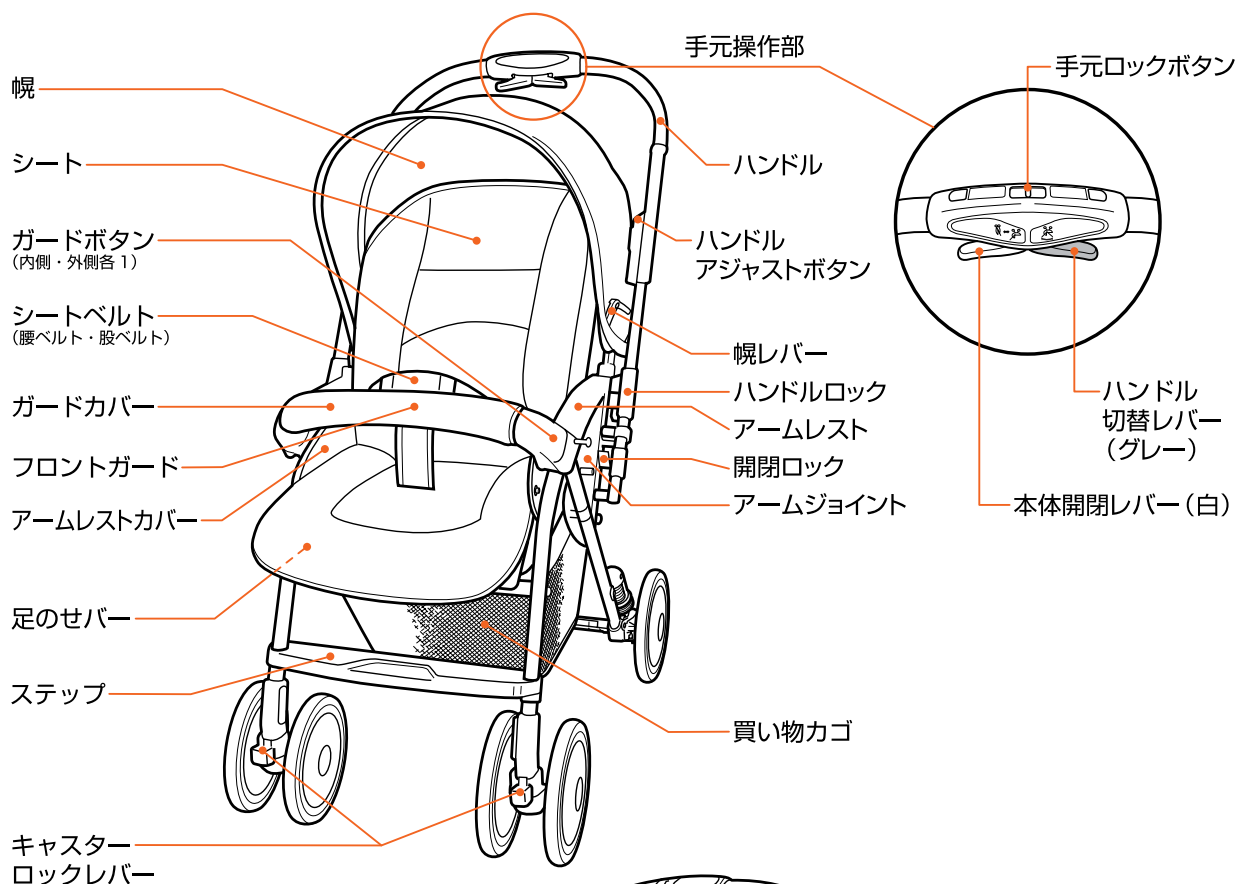
安全にお使いいただくために

⚠ 注意 取り扱いを誤ると傷害を負ったり、ベビーカーが破損するおそれがあります。

- 乳幼児を乗せる以外の目的で使用しないでください。
目的外の使用では破損などのおそれがあります。
- シートやアームレストカバーを取りはずしたまま乳幼児を乗せないでください。
すき間に手や足などをはさむおそれがあります。
- お子さまにベビーカーを操作させないでください。転倒や思わぬ事故につながります。
- ベビーカーの開閉やリクライニング操作時には、他人や小さいお子さまを近づけずに行ってください。
指をはさんだりするおそれがあります。
- 乳幼児の乗車時はもちろん空車であってもフロントガードを持って持ち運ばないでください。
ベビーカーが急に折りたたまれたり、フロントガードがはずれたり、手がすべって落下するおそれがあります。
- 乳幼児を乗せたとき、シートベルトがバックルに装着され、ベルトにゆるみがないことを確認してください。乳幼児が抜けだしたり、落下するおそれがあります。
- フロントガードを引っばって使用したり、ふりまわしたりしないでください。破損のおそれがあります。
- フロントガードには過度の力を加えないでください。また必要以上に広げたりしないでください。
- ベビーカーに大人が腰かけたり、過度の荷重を加えないでください。破損、故障の原因となります。
- ベビーカーを押すときは走らないでください。
走るとキャスターの動きが悪くなったり、転倒などの事故につながるおそれがあります。
- ベビーカー本体にはお子さまを乗せることを目的としたボードなどは取り付けないでください。
破損の原因となります。
- 買い物カゴには5kg以上の荷物を入れないでください。破損の原因となります。
- 踏切を渡るときは、できるだけ線路に直角に進んでください。
ななめに渡ると車輪をとられたり、線路の溝に車輪がはさまるおそれがあります。
- 雪が積もっているところや凍結したところなど、すべりやすい路面では使用しないでください。
ベビーカーだけでなく保護者も転倒するおそれがあります。
- 風の強いときには使用しないでください。勝手に動き出したり、転倒するおそれがあります。
- 雷のときは使用しないでください。落雷のおそれがあります。
- 夏季の晴天日中などは、路面の影響によりベビーカー内の温度が高くなるため、長時間の使用は避けてください。
- 火の近くや高温になる場所での放置、保管は避けてください。故障や変形の原因となります。
- ベビーカー本体の上に荷物などを重ねたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。
故障や変形の原因となります。
- 危険ですからむやみに改造、分解をしないでください。
- ご使用前に、ネジやナットにゆるみがないか確認してください。ゆるみがある場合は使用せず、必ず当社コンシューマープラザにご連絡ください。重大な事故につながるおそれがあります。
- 乳幼児がアームレストに手をかけたままハンドルを切り替えますと、手や指をはさむおそれがあります。
必ず手をかけていないことを確認してください。
- 長時間使用の禁止
長時間連続してのご使用は、お子さまの負担となります。寝かせた姿勢では2時間以内、座らせた姿勢では1時間以内で休憩をとるなどしてください。
- バスの中では使用しないでください。
本製品はバスの中で使用することを目的として設計されたものではありません。
本製品をバスの中で使用すると、カーブや急ブレーキなどで転倒や思わぬ事故につながります。
- 電車の中での使用について
本製品は電車の中で使用することを目的として設計されたものではありません。
お客さまの責任により、本製品を電車の中で使用するときは、カーブや急ブレーキなどで転倒するなどのおそれがありますので、必ずストッパーをかけて、十分注意してご使用ください。

(開封されましたら、部品がそろっているかご確認ください。)

各部のなまえ



手元ロックボタンについて



警告

- ロックを解除したまま使用しないでください。無意識にレバーを握ったときなど、急に折りたたまれたり、ハンドルが動いてしまうおそれがあります。
- 転倒の原因となりますから、同時に二つのレバーを握らないでください。



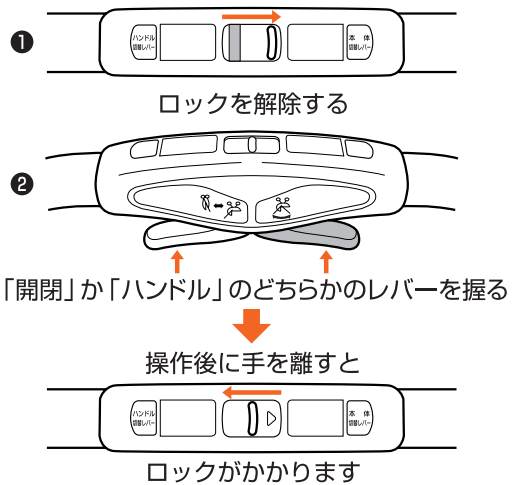
注意

- ロックがかかったままレバーを握らないでください。故障の原因となります。

ベビーカーの「開閉」操作と「ハンドル切り替え」操作は、

- ①ハンドル中央部上面の「手元ロックボタン」をずらして、ロックを解除します。（「ロック解除中」の赤いステッカーが表示されます。）
※ロックレバーはスライドさせながら押し込むようにして解除してください。
- ②レバーを握って操作します。

操作が終わり、レバーから手を離すと、自動的に「手元ロックボタン」が元の位置に戻り、ロックがかかります。ロックがかかったままではレバーは握れません。レバーを間違えて握ったときは、いったんレバーから手を離し、もう一度①からはじめてください。



本体の開きかた



警告

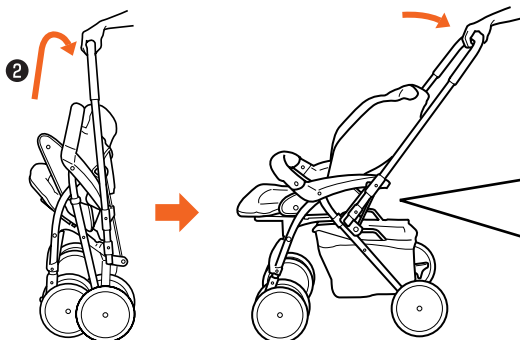
- 開閉ロックがかかっていないときは、そのまま使用しないでください。急に折りたたまれるおそれがあります。



注意

- 開くときには他人に触らせないでください。手をはさむおそれがあります。
- お子さまに操作させないでください。転倒や思わぬ事故につながるおそれがあります。

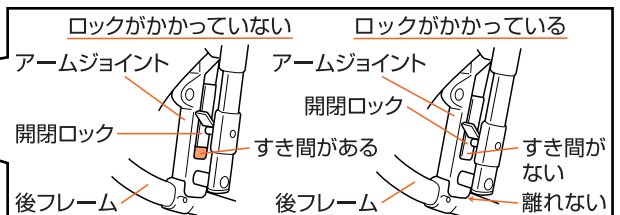
- ①ベビーカーの後ろに立って、ハンドル中央部の手元ロックボタンを右にずらします。赤いステッカーが表示されロックが解除されます。
- ②白い開閉レバーを握りながら、ハンドルを持ち上げるようにするか、アームレストの先端を下に押し下げると開きます。



①

開き終わって開閉レバーから手を離した後、次の点を確認してください。

- 手元ロックボタンが元の位置にもどっている。
- 左右の開閉ロックが完全に下まで降りている。
- ハンドルを持ち上げたときに、アームジョイントと後フレームが離れない。



ハンドルの切り替えかた



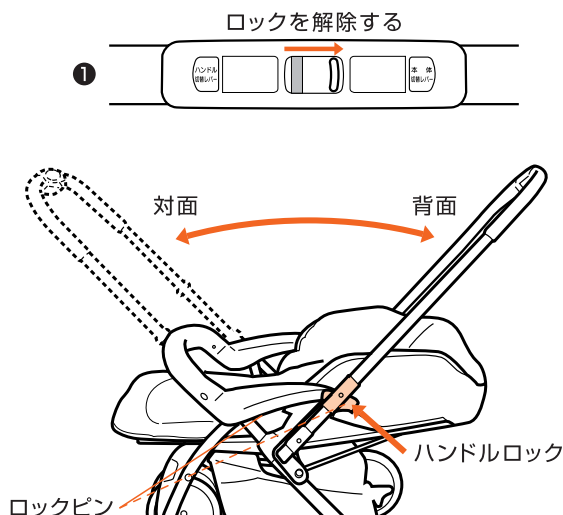
注意

- 手元ロックボタンとハンドルロックがかかっていないときはそのまま使用しないでください。急にハンドルが切り替わるおそれがあります。
- お子さまがアームレストに手をかけたままハンドルを切り替えますと、手や指をはさむおそれがあります。必ず手をかけていないことを確認してください。
- 危険ですからベビーカーを押しながら操作しないでください。

- ①ハンドル中央部の手元ロックボタンをすらしめます。
赤いステッカーが表示され、ロックが解除されます。
- ②グレーのハンドル切り替えレバーを握りながら、ハンドルの向きをかえます。

ハンドル切り替えレバーから手を離れた後、次の点を確認してください。

- 手元ロックボタンが元の位置にもどっている。
- 左右のハンドルロックがロックピンにかかっている。
- ハンドルを上下させても動かない。



ハンドル高さ調節のしかた

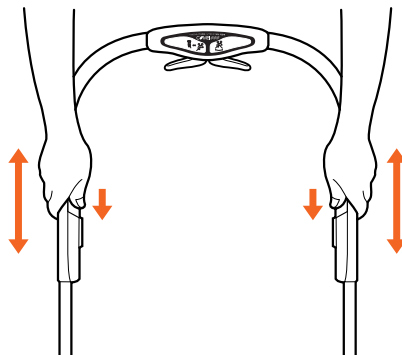
身長に合わせて、ハンドルの高さを3段階に調節できます。



注意

- 調節後は、必ずハンドルがロックされたか確認してください。ロックが不完全ですと、使用中に急に高さが変わるおそれがあります。
- 調節後は、左右同じ高さになっているか確認してください。左右の高さが違うままご使用になると破損するおそれがあります。
- 危険ですからベビーカーを押しながら操作しないでください。

図のように左右のハンドルアジャストボタンを同時に押しながら高さを調節します。指をはなした後、左右ともロックされているか、ハンドルを上下させて確認します。空車の状態でハンドルを高くするときは、ベビーカーごと持ち上がってしまう場合があります。このようなときは、軽くつま先で軸受けプレートを押さえてください。



アームレストカバーの使いかた



注意

- アームレストカバーを取りはずしたままお子さまを乗せないでください。すき間に手や足をはさむおそれがあります。
- やぶれやほつれの発生したアームレストカバーはそのまま使用しないでください。中のウレタンをお子さまが飲み込むおそれがあります。

アームレストカバーは必ず取り付けて使用してください。

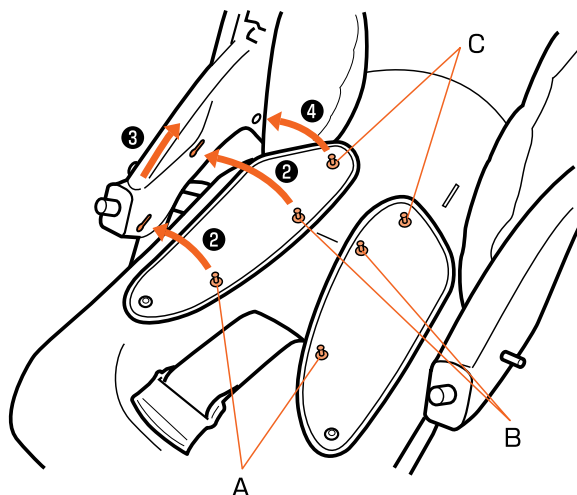
取りはずしかた

- ① C の突起をはずします。
- ② アームレストカバーを前方にずらします。
- ③ A/B2 つの「突起」をはずします。

取り付けかた

背もたれをいちばん倒した角度にします。

- ① イラストを参考に、アームレストカバーの左右を確認します。
- ② A/B2 つの「突起」をアームレスト前側の穴2カ所にそれぞれ差し込みます。
- ③ アームレストカバーを後方にずらします。
- ④ C の突起をアームレストにとめます。



ゆっくり背もたれを上げ、背もたれの側面に引っかからないことを確認してください。

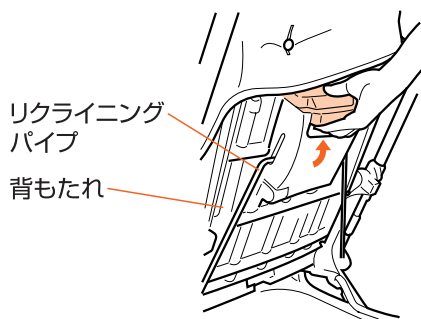
リクライニングの使いかた



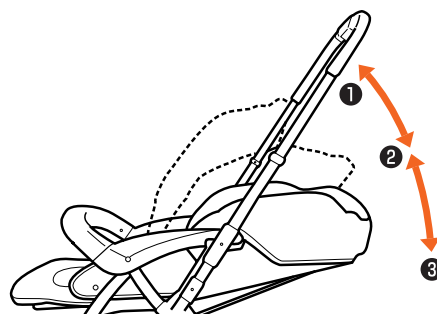
注意

- 危険ですからベビーカーを押しながら操作しないでください。
- リクライニングパイプと背もたれの間に指をはさまないよう十分ご注意ください。

リクライニングレバーを指で起こしながら、背もたれの角度を変えます。角度調節は3段階です。



お子さまを乗せたまま、リクライニング操作をするときには、背もたれを少し押し上げながらレバーを握ってください。



お子さまを乗せてリクライニングを操作をするときは、できるだけゆっくり静かに行ってください。特に背もたれを倒すときには、急に角度が変わらないように十分ご注意ください。

キャスターの使いかた

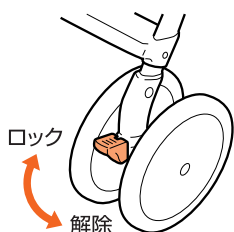
平坦な路面を押すとき、前輪の向きが変わり、方向転換がしやすくなります。



- キャスターを固定する位置を間違えて使用すると、押しづらだけでなく故障の原因となります。必ず正しい位置で固定してください。

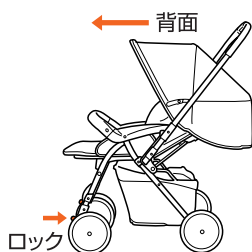
キャスターを使用する場合

キャスターロックレバーを下げ、ロックを解除します。

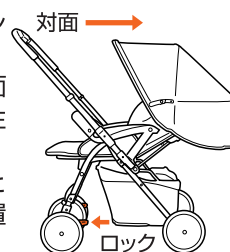


キャスターを使用しない場合

坂道や凹凸のある路面を押すときは、キャスターを固定します。



左右のキャスターロックレバーを上げてロックします。ロックする車輪位置は対面と背面では違います。ご注意ください。ベビーカーを折りたたむときは、左のイラストの位置でロックしてください。



ストッパーの使いかた

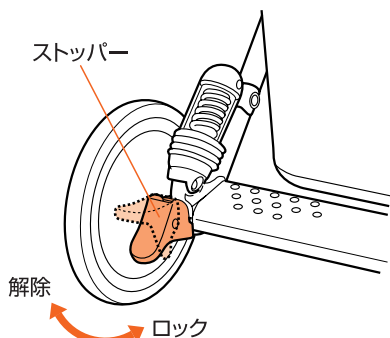


- ストッパーを過信しないでください。ストッパーをかけていても動き出したり、転倒するおそれがあります。
- お子さまを乗せたままベビーカーから離れないでください。ベビーカーが動き出したり転倒するおそれがあります。



- 空車であってもベビーカーから離れるときは、必ず左右ともストッパーをかけてください。ストッパーが不完全ですと動き出すことがあります。
- ストッパーは、走行中のベビーカーを停止させるためには使用しないでください。また、ストッパーをロックの状態で行きしないでください。破損の原因になります。

- 左右の後輪の内側にあるストッパーを下げるとストッパーのロックがかかります。ベビーカーを軽く前後に動かしてストッパーが正しくかかっているか確認してください。
- 解除するときはストッパーを上げてください。



フロントガードの使いかた

フロントガードを開くとお子さまの足が引っかからず、乗せ降ろしが楽にできます。



警告

- フロントガードに関係なくお子さまを乗せるときは必ずシートベルトを締めてください。フロントガードは抜け出しや立ち上がりを防ぐものではありません。



注意

- フロントガードが確実に取り付けられたか必ず確認してください。
- お子さまの乗せ降ろし時以外は、必ずフロントガードは閉じてください。すき間に手を入れると危険です。また、破損の原因ともなります。
- フロントガードが確実にロックされたか必ず確認してください。ロックが不完全ですと使用中に開いてしまうおそれがあります。
- フロントガードをつかんで持ち運ぶことは、お子さまを乗せているときはもちろん、空車のときであっても避けてください。手がすべったり、フロントガードがはずれたりすると危険です。

フロントガードの取り付けかた

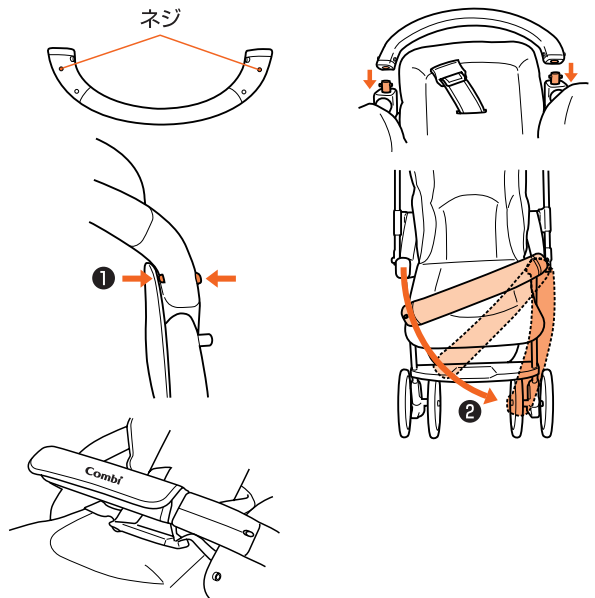
- フロントガードは、ネジが見えるほうを下にしてアームレスト先端の突起に差し込みます。確実に固定されたか引っぱって確認してください。

フロントガードの取りはずしかた

- ①フロントガード端の外側と内側2つのガードボタンを同時に押し、アームレストからフロントガードを引き抜きます。
- ②フロントガードを持って、下に降ろします。

ガードカバーの取り付けかた

- ①正面から見て「Combi」の文字が正しく見えるようにフロントガードとガードカバーをあわせませす。
- ②裏面のマジックテープをあわせませす。



買い物カゴの使いかた



注意

- 5kg以上の荷物は載せないでください。破損の原因となります。
- 角のとがったものは載せないでください。カゴ底面部の破れの原因となります。

取りはずしかた

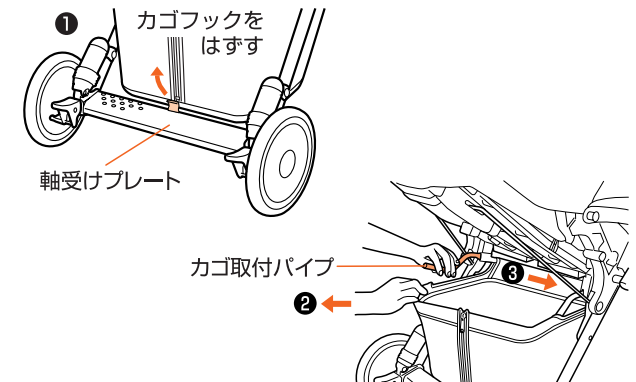
- ①カゴフックを軸受けプレートからはずします。
- ②カゴ取付パイプの後部を、手で支え矢印②の方向にカゴを引き抜きます。
- ③次ぎに矢印③の方向にカゴを引き抜きます。

取り付けかた

- 取りはずしかたの逆の手順で、取り付けてください。

荷物について

できるだけカゴ底に均等にのせてください。リクライニング操作に支障のない高さにしてください。ベビーカーの破損や荷物のつぶれの原因になりますから、折りたたむときには荷物を取り出してください。



シートベルト（股ベルト・腰ベルト）の使いかた

ここでは、股ベルトと腰ベルトを合わせてシートベルトと呼びます。

お子さまを乗せるときは必ずシートベルトを締めてください。

また、シートベルトを締めていても、万一の抜け出し、立ち上がりに対しては十分注意してください。

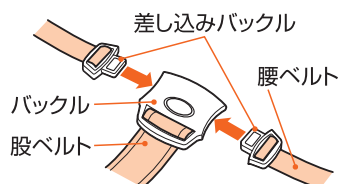


警告

- お子さまを乗せるときは必ずシートベルトを締めてください。締めずに乗せたり、ベルトの締めかたが不完全ですと、使用中にお子さまが落ちるおそれがあります。また、シートベルトを締めていても、万一の抜けだし、立ち上がりには十分ご注意ください。
- シートベルトの長さはお子さまの体に合わせて調節し、しっかりと締めてください。

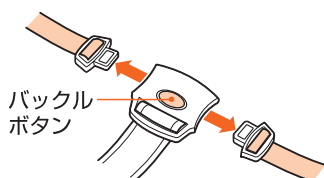
シートベルトを締めるとき

- ①お子さまの股の間から股ベルトを引き出し、バックルの左右に腰ベルトの差し込みバックルを差し込む。
- ②腰ベルトを引っばって、はずれないことを確認する。



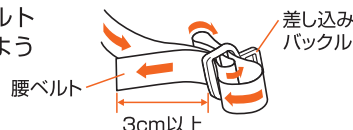
シートベルトをはずすとき

股ベルトのバックルボタンを押す。

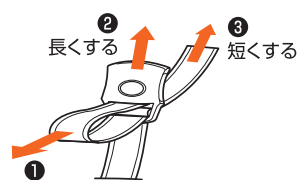


シートベルトの取り付けと調節のしかた

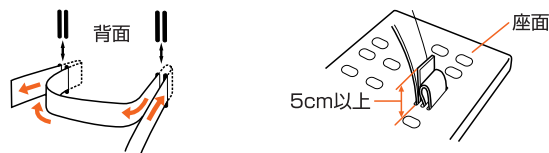
腰ベルトは、図にある矢印にしたがって取り付けます。腰ベルトの長さは、ベルトの端が3cm以上残るように調節してください。



股ベルトの長さを調節するには、はじめに①調節したい分の長さを引き出します。長くするときには、②バックルを引っばり、短くするときには、③ベルトの端を引っばります。



- 長さ調整のときに差し込みバックルを取りはずした場合は、下図のとおり確実に取り付けてください。



シート、衝撃吸収マットの取り扱いかた

衝撃吸収マットは、走行中のお子さまへの衝撃をやわらげます。

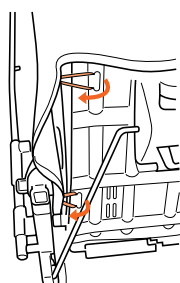


注意

- シートを取りはずしたままお子さまを乗せないでください。すき間に手や足をはさむおそれがあります。
- やぶれやほつれの発生したシートはそのまま使用しないでください。中のワタをお子さまが飲み込んだり、シート本来の機能が果たせなくなるおそれがあります。
- シートを取り付ける際に、ゴムベルト、ホック類を確実にセットしてください。取り付けが不完全だとケガや破れなどの原因となります。

シート、衝撃吸収マットの取りはずしかた

- ①まず、足のせを使っているときには、シート前端的のホックをはずしておきます。
- ②背もたれ裏側のフックにかけてある左右のゴムベルトをはずします。
- ③シートベルトをベルト通し穴から抜き取ればシートは取りはずせます。バックルやホックが通し穴に引っかかることがありますから、丁寧に扱ってください。
- ④衝撃吸収マットは、シートベルトを抜き取り、左右のゴムベルトをはずします。



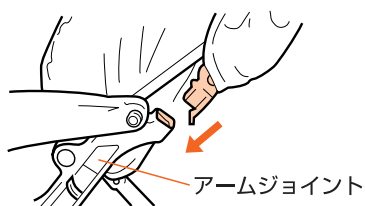
シート、衝撃吸収マットの取り付けかた

- ①背もたれをいちばん倒して、衝撃吸収マットを乗せ、腰ベルトと股ベルトを通し、左右のゴムベルトをフックにかけます。
- ②シートを乗せ、腰ベルトと股ベルトを通します。
- ③背もたれを起こし、計6本のゴムベルトを裏側の両側面計4カ所のフックにかけます。
- ④シートは洗濯機で丸洗いができます。洗濯方法は13ページをご覧ください。
注意:「衝撃吸収マット」は手洗いしてください。衝撃吸収マットは取り付けなくてもご使用になれますが、シートは必ず取り付けてご使用ください。衝撃吸収マットを使用するときは必ずシートの下に敷き、ゴムベルトをとめてください。

幌の使いかた

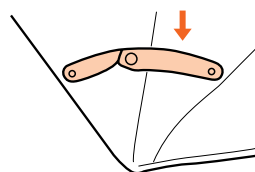
取り付けかた

幌の差し込み部分を、アームジョイント上部の穴に差し込みます。ツメがかかって固定されます。



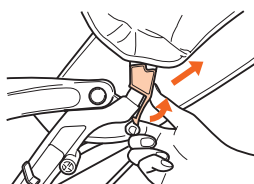
広げかた

前後のステー（中骨）を持ってひろげ、左右の幌レバーの関節部を押し下げロックします。



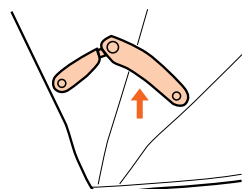
取りはずしかた

差し込み部分のツメを指ではずしながら、引き抜きます。



たたみかた

幌レバーの関節部を下から押し上げてから、たたみます。



足のせの使いかた

足のせを出していると、お子さまが寝たとき、楽な姿勢で眠れます。

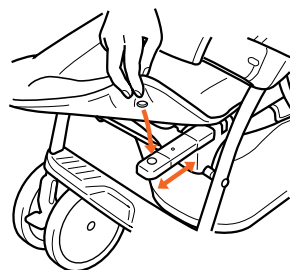


使用するときには、必ずホックをとめてください。破損やお子さまのけがの原因となります。

使用するときには、シートを持ち上げ、座面にある足のせバーを前端で止まるまで引き出します。

シートをのせ必ずホックをとめます。

使用しないときは、シートのホックをはずし、足のせバーを座面の中に押し込みます。



本体の折りたたみかた

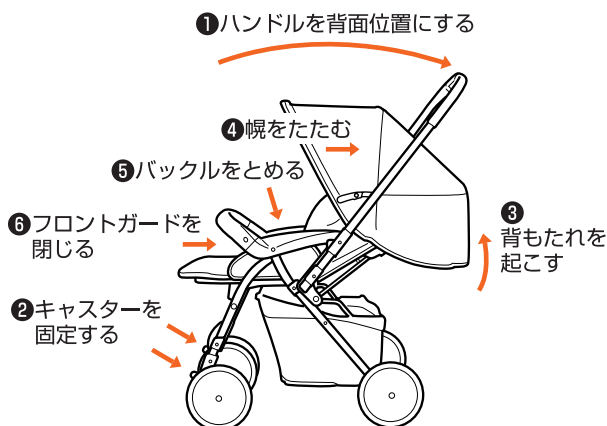


注意

- 手元ロックボタンと開閉ロックがかかっていないときはそのまま持ち運ばないでください。急に開いてしまうおそれがあります。
- 引っかかりや、はさみ込みなどを感じたら、いったん開いて原因を確認してください。無理に折りたたむと破損するおそれがあります。

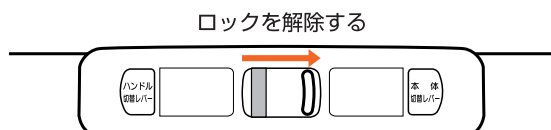
折りたたむ前に下記の操作を行ってください。

- ①ハンドルを背面位置にしてください。
(6 ページをご参照ください)
- ②キャスターを背面で使用する位置で固定してください。
(8 ページをご参照ください)
- ③背もたれを一番起こした位置にします。
(7 ページをご参照ください)
- ④幌をたたみます。
(11 ページをご参照ください)
- ⑤シートベルトのバックルをとめてください。
(10 ページをご参照ください)
- ⑥フロントガードを閉じてください。
(9 ページをご参照ください)

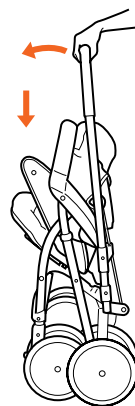


まず、ベビーカーの後ろに立って、ハンドル中央部の手元ロックボタンを右にずらします。赤いステッカーが表示されます。

次に白い開閉レバーを握り、ハンドルを前方向に軽く持ち上げるようにしながら、前輪を支点にして矢印の方向に力を加えると折りたためます。



スムーズに折りたためないときは、車体にシートやシートベルトなどがはさみ込まれていることが考えられます。無理に力を加えず、いったん開き、はさみ込んでいる物はずしてください。開閉レバーから手を離した後、手元ロックボタンが元の位置に戻っているか(開かない状態になっているか)をハンドルを持ち上げて確認してください。



保管のしかた



注意

- 火の近くや夏季の車内など高温になる場所での保管は避けてください。故障や変形の原因となります。
- 荷物を重ねたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。

- 直射日光を避け、湿気が少なく雨やほこりのかからない場所に立てて保管してください。屋外で保管する場合はカバーをかけることをおすすめします。
- 車のトランクに入れて運ぶ場合は、背もたれを下にして寝かせてください。

日常のお手入れ

縫製品の洗濯について

●シートの洗濯

洗濯機で丸洗いができますが、以下の点にご注意ください。
シートの取りはずしは10ページをご覧ください。

- 40℃以下の液温で、弱水流で洗ってください。
- 通常の洗濯用洗剤が使用できますが、漂白剤や漂白剤入りの洗剤は使えません。使用する洗剤の注意書きもよくお読みください。
- 長時間つけ置きせず、短時間で洗い上げてください。色落ちの原因となります。
- 十分すすぎ、軽く脱水した後、形を整えて平干ししてください。
- 乾燥機の使用やドライクリーニングはできません。
- 幌、買い物カゴ、股ベルト、腰ベルト、ガードカバー、アームレストカバーの洗濯
- ブラシやスポンジなどを使用し40℃以下の液温で、手洗いしてください。
- 通常の洗濯用洗剤が使用できますが、漂白剤や漂白剤入りの洗剤は使えません。使用する洗剤の注意書きもよくお読みください。
- 洗剤を使用して汚れを取った後は、水を含ませた布やスポンジで洗剤分が残らないように数回ふき取ってください。
- 乾かすときは、乾いた布で水分をふき取り、陰干ししてください。

※製品の特性上若干色あせすることがあります。

※洗濯の際は天然脂肪酸をベースとした蛍光剤・漂白剤・酵素などを含まない「コンビ おむつ・肌着洗い」をおすすめします。また、快適にお使いいただくために頻繁に洗濯することをおすすめします。

●衝撃吸収マット

衝撃吸収マットはシートの洗濯のときなどに陰干しして乾燥させてください。

洗う必要があるときには、通常の洗濯用洗剤を使用してください。手で押し洗いをして、軽く脱水するか、乾いたタオルなどで水分をとった後、日陰で平干しをしてください。もみ洗いや、きつく絞ったりしないでください。また、乾燥機の使用やドライクリーニングは避けてください。

車体の清掃について



- 車体の清掃には中性洗剤以外は使用しないでください。部品の変質、劣化の原因となります。

- 車輪やプラスチック部品および金属の汚れは、水を含ませよくしぼった布でふき取ります。汚れがひどいときは薄めた中性洗剤を含んだ布でふいた後、水を含ませよくしぼった布で数回ふき取り、洗剤分が残らないようにします。

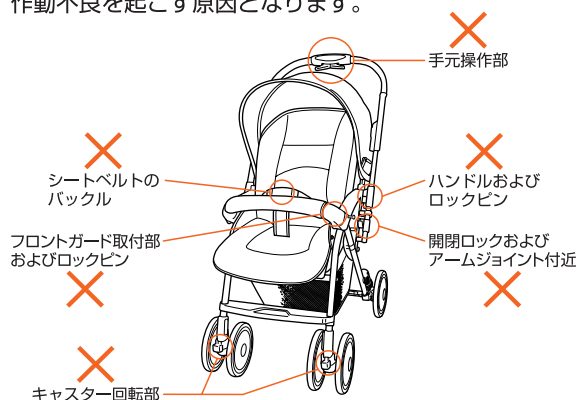
注油について



- お子さまがなめる可能性の高いフロントガード、アームレストなどには油が付着しないようご注意ください。

- きしみ音が発生したり、作動が鈍くなって注油が必要と思われる場合は、必ず潤滑油を少量お使いください。多すぎるとほこりが付きやすく、かえって機能を低下させます。注油する部分の泥や汚れはあらかじめよくふき取ってください。

※下のイラストの部分には注油しないでください。
作動不良を起こす原因となります。



点検とアフターサービスについて

- ご使用中に車体の破損、異常、ネジのゆるみやシートおよびシートベルトにやぶれ・ほつれなどが発生した場合や、部品の交換または修理が必要な箇所を発見した場合、直ちに使用を中止して当社コンシューマープラザにご連絡ください。そのまま使用しますと、重大な事故につながるおそれがあります。お問い合わせの際は、背もたれ後側に貼ってあるシールをご覧ください。

コンシューマープラザ(Customer Service Center)

〒339-0025 埼玉県さいたま市岩槻区釣上新田271 TEL.(048)797-1000 FAX.(048)798-6109

コンシューマープラザ(Customer Service Center)／西日本担当

〒550-0014 大阪府大阪市西区北堀江1-1-18 TEL.(06)6536-0456 FAX.(06)6536-4468

- ネジ類のゆるみ、部品の欠損および作動不良などの異常がないか適時点検してください。
- 危険ですからむやみに改造や分解はしないでください。
- お手入れの際に取りはずした商品は、本書をよく読み正しく取り付けてください。取りはずしたままですとお子さまが危険です。
- 本製品の修理／部品販売の際は、まったく同じ部品がない場合があります。色や仕様が若干異なることがありますので、あらかじめご了承ください。製品使用上は差しつかえありません。

廃棄方法について

- お住まいの各自自治体の指示にしたがい、処分・廃棄してください。
- 地球環境のため、放置はしないでください。

便利なオプション品（別売り）

コンパクト
レインカバー
晴れるといいな
(ウェルベビー、カルピコ
シリーズ用)



●雨のときや外出や出先での急な雨、
また、風の日などにお使いください。

足カバー
PR型



●お子さまの足元をやさしくおおい、
あたたかく保ちます。

収納カバー
TF型



●玄関や屋外に折りたたんで置くときにかけてください。

ファンファン
クッション



●ふわふわワタで乗り心地を高めます。

※部品対応となります。

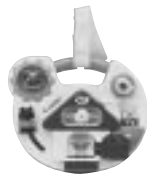
お出かけ
トイ



●おでかけミニハンドル



●おでかけメリー



●おでかけミニハウス

●おもちゃを付けて、楽しくお出かけ。
お出かけ先であきさせません。

セーフティ
ベルト



●シート上での抜け出し、立ち上がりを防ぎます。

インターネット上に育児コミュニティを開設しています

コンビの育児応援サイト・コンビタウン

<http://www.combibaby.com>

コンビ株式会社

製品にお気付きの点がございましたら、コンシューマープラザ (Customer Service Center) までご連絡ください。

コンシューマープラザ (Customer Service Center)

〒339-0025 埼玉県さいたま市岩槻区釣上新田271

コンシューマープラザ (Customer Service Center) / 西日本担当

〒550-0014 大阪府大阪市西区北堀江1-1-18

TEL. (048) 797-1000 FAX. (048) 798-6109

TEL. (06) 6536-0456 FAX. (06) 6536-4468

コンビ
ベビーカー
A型(R)
ウェルベビー

Combi